

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和56年7月27日

第16報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	40		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	40		
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> *	40		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	160		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Peridinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	640		
(緑) <i>Quadrigula chodatii</i>	80		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	2080	○	
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	4480	◎	◎
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	80		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	80		○
(藍) 藍藻綱	160	2.0	13.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	200	2.5	2.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.3	0.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	1.0	1.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	7540	94.3	82.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	8000	総体積	1.28E+07
種類数	17	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	4480

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	2080

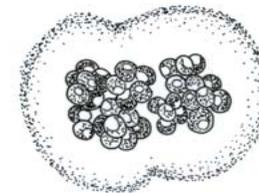
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンシヨウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンシヨウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Planktosphaeria gelatinosa
(プランクトスフェリア)
緑藻綱

細胞は球形。若い細胞は杯状の葉緑体と1個のピレノイドを持つ。厚い寒天質に包まれた群体をなす。